



校長室 だより No.14

令和2年3月号
白山市立美川小学校
白山市美川和波町ワ229
TEL 278-2063

「テセウスの船」を 美川で考えると

校長 今井 直人

ドラマ「テセウスの船」を視聴している方にもそうでない方にもわかるように、私なりに「テセウスの船」を説明してみます。

「テセウスの船」は古代ギリシャの話ですが、わかりやすくするために、おかげり祭りの台車にしましょう。車輪などが傷んでくると何十年に一度かは更新されているようですが、長い年月をかけてすべての部品が交換されたとします。で、古い方のすべての部品でもう一台組み立てられたとすると、本物はどちら？

美川の味といえば水産加工品。「秘伝のぬか床」があるとしましょう。しかし継ぎ足しながら使うということは、創業時のものはこの世に存在しないのでは？

美川から離れてアイドルグループで考えてみましょう。もともとのメンバーが順々に卒業して全員が入れ替わったとします。そこで、別の場所で卒業メンバーばかりで再結成したら、史実が2つになってしまうのでは？

これくらいでいいでしょうか。——タイムマシンで時代を行き来できるとしたら、という話になりますが——「テセウスの船」とは、事実や真相がすり替わってしまうという自己同一性についての逆説、矛盾です。



小学校の子どもは6年でそっくり入れ替わります。先生方も10年はいません。「美川小は昔から——だ」「美川小の子って——だよね」って、つい口にしますが、はたしてそれは真相なのでしょうか？ 卒業式ではたいてい在校生が「受け継ぎます！」って言いますが、じゃあ過去も未来も変わらずに受け継ぐものは何なのでしょうか。いよいよ私の頭の中が、時空を超えて混乱してきました。ドラマの主役竹内涼真になった気分です…！？

Q&A 校長室からお答えします Vol.19

懇談会に参加して、担任の
お話を聞きたくても…

Q きょうだいがいると、学級や学年の懇談会が掛け持ちになり、担任の先生のお話が聞けません。プリントにしていただけるとうれしいのですが。（2月7日参観日のアンケートより）

A 学校説明会で説明いたしましたように、次年度は学校公開の回数を大きく増やすかわりに、学級懇談会は特に必要がなければ4月だけとなりますので、担任のお話はみなさんお聞きになりたいはずです。紙で出してほしいというリクエストには、対応できるようにしたいと思います。

この問題はいい解決策がないのですが、こうしてご関心をもっていただけるのはありがたいことです。以下、参考まで。



低学年と高学年あるいは1・3・5年と2・4・6年で懇談会の進行を入れ替え、担任のお話と保護者の懇談を逆にすればどちらも聞ける——という方法も考えてみました。しかしこれでは、きょうだいの学年によっては重複しますし、保護者同士の懇談から人が抜けていきます。そもそも、お子さんが3人いれば解決になりません。

また、紙で出すのなら、担任のあいさつや方針だけでなく、それを受けた保護者のみなさんとの懇談の内容もお知らせすべきですね。懇談会が減り、ご負担が減る分、学級委員さんにはこの1回の仕事をお願いできないものかと、個人的には思います。もちろん「懇談会」ではなく、子育ての悩み事など個別のご相談は、隨時お申し出ください。めざすのは学校と保護者がお互いに安心できる関係です。